

トルコ地震被災者支援 「こころのパン」 事業報告会

「人はパンのみにて生きるにあらず」。パンと水が身体に不可欠のように、芸術は「こころのパン」として魂に不可欠であります。それは国境を越え、言葉を超越して、接する人の心に直接響きを与え、語りかけます。

1999年8月及び11月、トルコは2度にわたり大地震に見舞われました。総数2万人を超える死者と現在なお困難な生活を強いられている多数の被災者のために、芸術を通して鎮魂と慰め、希望と勇気を与える「こころのパン」プロジェクトー被災地での巡回展ーを開催しました。

2002年8月～2003年8月の間、アンカラ、イスタンブール、イズミル、アンタルヤ、及びデイルメンデレで実施されたAICAT「こころのパン事業」の報告会です。

ご参加いただきご意見をいただければ幸いです。

日 時：平成15年10月13日(月)、13:00～16:30

場 所：広島国際学院大学立町キャンパス（旧朝日会館、中区立町電停前）

主 催：特定非営利活動法人 国際協力アカデミーひろしま（AICAT）

共 催：広島国際学院大学

報告会次第

開会挨拶 上田みどり（AICAT代表理事）

報告会

1 トルコ「こころのパン事業」を実施して（13:30～14:30）

中浜慶和（AICAT副代表理事）

2 こころのパン事業ートルコからの発言ー（予定、14:30～15:00）

イナン・オネル（トルコ人留学生、東大大学院研究生）

3 ワークショップ「押し花」を主催して（15:15～15:45）

三好基子（押し花作家、広島国際学院大学非常勤講師）

4 ビデオ上映とディスカッション（15:45～16:30）

閉会挨拶 屋葺道信（AICAT理事・事務局長）

総合司会 小西忠男（AICAT理事）

